



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月13日

上場会社名 株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 上場取引所 東
コード番号 3652 URL https://www.dmprof.com
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (兼) 社長CEO (氏名) 山本 達夫
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 企画管理 (氏名) 大澤 剛 TEL 03 (6454) 0450
定時株主総会開催予定日 2025年6月24日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2025年6月23日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	3,077	2.0	265	△19.2	271	△17.8	157	△52.6
2024年3月期	3,016	29.9	328	-	330	-	331	-

(注) 包括利益 2025年3月期 153百万円 (△54.0%) 2024年3月期 333百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	49.96	-	4.4	6.8	8.6
2024年3月期	105.33	-	10.1	8.5	10.9

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 -百万円 2024年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	4,092	3,611	88.2	1,148.27
2024年3月期	3,919	3,457	88.2	1,099.42

(参考) 自己資本 2025年3月期 3,611百万円 2024年3月期 3,457百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	93	△167	-	2,529
2024年3月期	660	△500	△0	2,603

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2026年3月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00		-	

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,250	5.6	20	△92.5	25	△90.8	20	△87.3	6.36

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	3,152,400株	2024年3月期	3,152,400株
2025年3月期	7,240株	2024年3月期	7,240株
2025年3月期	3,145,160株	2024年3月期	3,145,185株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	3,077	2.0	261	△19.7	267	△18.3	153	△53.3
2024年3月期	3,016	29.9	325	—	327	—	328	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	48.81	—
2024年3月期	104.49	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	4,078	3,594	88.1	1,142.98
2024年3月期	3,911	3,445	88.1	1,095.36

(参考) 自己資本 2025年3月期 3,594百万円 2024年3月期 3,445百万円

2. 2026年3月期の個別業績予想につきましては、個別情報の重要性判断により記載を省略しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報の注記)	12
(重要な後発事象の注記)	13
4. その他	13
(1) 最近における四半期毎の業績の推移	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用の緩やかな改善、名目賃金の増加、企業部門の堅調な業績等により、景気は緩やかに回復しました。しかし、円安の継続、物価やエネルギーコストの高騰等が経済、国民生活に与える影響が顕在化しています。また、世界の景気も総じて持ち直しの動きが見られましたが、金融引き締めによる影響に加え、中国経済の先行き懸念、足元の地政学的リスクの増大など下振れリスクに留意が必要です。

当社グループの属する半導体業界では、2023年に底打ちした市場を生成AI（人工知能）向け需要が牽引しています。中期的にも、あらゆるモノがインターネットにつながるIoTやAI、ビッグデータ、次世代高速通信規格、自動運転向け等の需要拡大が見込まれます。

当社グループの事業領域であるAI/ビジュアル・コンピューティング分野においては、少子高齢化に伴う労働人口の減少、気候変動等の社会・環境課題の解決や安全安心社会の実現に向けたイノベーションの加速やAIの果たす役割の増大が予想されます。

このような環境下において、当社グループは、「Making the Image Intelligent」というパーパスのもと、当社の創業来の強みである画像インテリジェンス（画像の知能化）の力で現実世界の問題を解決し、ステークホルダーに価値をもたらす革新的な製品とサービスを創造することに取り組んでいます。アミューズメント分野およびIP分野の安定成長による確固たる事業基盤のもと、ロボティクスおよびセーフティ分野、その応用分野である映像点検領域、半導体製造装置領域等において、企画から量産までの顧客製品・サービスの開発ライフサイクル全体をサポートしています。アルゴリズム、ソフトウェアから、当社の強みであるハードウェアまでの一貫開発体制をもって、IPコアライセンス事業、製品事業、プロフェッショナルサービス事業を展開し、付加価値を提供することで、LTV（顧客生涯価値）の最大化を図っています。

当連結会計年度の注力分野における具体的な取り組みと成果としては、まずセーフティ分野において、安全運転支援向けとしてエッジからクラウドに亘る既存プロジェクトからのリカーリング収益を獲得するとともに、より広範なセーフティ分野向けを中心にプロフェッショナルサービスを提供しました。

ロボティクス分野においては、自律走行ロボット（AMR）向けのZIA MOVEライセンス提供に加えて、自律走行ロボット領域、半導体製造装置領域、映像点検領域、モデルベース開発ツールのRTMapsに関連した建設機械領域向け等にプロフェッショナルサービスを提供しました。また、資本業務提携先のCambrian社のピッキングロボット向けビジョンシステムについては、透明パーツ、光沢パーツの認識精度や外乱光等の環境変化へのロバスト性の競争優位性が評価され、製造インラインへの本格導入を含む製品納入や商談が進捗するとともに、各種展示会への出展によるリード獲得を推進しました。更には、世界をリードする中国ロボティクス企業3社と販売代理店契約を締結し、AMR、AGF（無人搬送フォークリフト）といったロボット本体やそのコントローラー、センサー、モーターなどロボットを構成するキーコンポーネントとソフトウェアの提供を2025年4月より開始しました。当社開発のVisual SLAMに加えてLiDARベースの製品を揃え、AMR向けにワンストップソリューションを提供します。

アミューズメント分野においては、スマートパチスロを含むパチスロやパチンコ向けに画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続するとともに、引き続きこのユニークな2D・3D統合チップの優位性を発揮できる市場セグメントにおけるシェア拡大を目指しています。

その他の取り組みとして、2025年2月13日に公表した「新たな事業の開始に関するお知らせ」にある通り、高い画像処理技術を持つ台湾iCatch Technologyを戦略的パートナーとして、今後成長が期待されるエッジAI市場向けに次世代エッジAI半導体事業を開始しました。低消費電力、高性能、高いセキュリティ要件を同時に満たす革新的なエッジAI半導体を実現することで、世界の急速なエッジAIニーズの拡大に応えるとともに、本事業をアミューズメント事業に続く当社の長期的な事業基盤、成長エンジンとしてまいります。開発は順調に進んでおり、事業（販売）開始は2026年3月期第4四半期を予定しています。

当連結会計年度の業績につきましては、製品事業において画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続するとともに、Cambrianビジョンシステム等を出荷しました。IPコアライセンス事業においては、GPUやロボティクス向け新規ライセンス収入、AI/GPUランニングロイヤリティ収入、セーフティ分野およびロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンスサポート収入等を計上しました。また、プロフェッショナルサービス事業においては、AI/GPU受託開発サービスを提供しました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は3,077百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は265百万円（前年同期比19.2%減）、経常利益は271百万円（前年同期比17.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は157百万円（前年同期比52.6%減）となりました。

第3四半期連結会計期間にエッジAI半導体の開発費79百万円を計上しています。また、第4四半期連結会計期間に、特別損失として投資有価証券評価損42百万円を計上するとともに、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産45百万円を取り崩すこととし、法人税等調整額に計上しました。

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしておりませんが、事業別業績の概要は以下のとおりであります。

①IPコアライセンス事業

デジタルスチルカメラ、4Kテレビ、OA機器等のデジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ収入に加え、セーフティ分野およびロボティクス分野におけるリカーリング収益、GPU/ロボティクス新規ライセンス収入並びにメンテナンスサポート収入の計上により、売上高は124百万円（前年同期170百万円）となりました。

②製品事業

「RS1」の堅調な量産出荷に加えて、Cambrianビジョンシステム等の売上の計上により、売上高は2,855百万円（前年同期2,758百万円）となりました。

③プロフェッショナルサービス事業

ロボティクス分野、セーフティ分野におけるAI受託開発サービスおよびアミューズメント分野における受託開発サービスの提供により、売上高は97百万円（前年同期87百万円）となりました。

また、分野別業績の概要は以下のとおりです。

①セーフティ分野

主に、IPコアライセンス事業におけるリカーリング収益およびより広範なセーフティ分野向けプロフェッショナルサービスの提供により、売上高は38百万円（前年同期71百万円）となりました。

②ロボティクス分野

主に、IPコアライセンス事業におけるAMR向けの新規ライセンス提供、製品事業におけるCambrianビジョンシステムの売上計上およびAMR領域、半導体製造装置領域、映像点検領域向けを含むプロフェッショナルサービスの提供により、売上高は168百万円（前年同期168百万円）となりました。

③アミューズメント分野

主に、「RS1」の量産出荷売上の計上により、売上高は2,779百万円（前年同期2,642百万円）となりました。

④その他分野

主に、IPコアライセンス事業におけるGPU新規ライセンス提供、デジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ収入およびメンテナンスサポート収入の計上により、売上高は90百万円（前年同期134百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計額は4,092百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円増加しました。これは主に、ソフトウェア仮勘定が158百万円及び売掛金及び契約資産が165百万円増加し、現金及び預金が73百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債および固定負債は合計で480百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円増加しました。これは主に、買掛金が114百万円増加し、未払法人税が32百万円及び未払消費税が47百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計額は3,611百万円となり、前連結会計年度末に比べ153百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が157百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は88.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、2,529百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、93百万円の収入となりました。主な増加要因は、減価償却費27百万円及び税金等調整前当期純利益229百万円、仕入債務の増加額114百万円であり、主な減少要因は、売上債権の増加額165百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、167百万円の支出となりました。主な減少要因は、投資有価証券の取得による支出100百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローはありません。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率 (%)	93.5	89.2	81.3	88.2	88.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	250.2	128.5	225.1	308.5	134.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	—

2021年3月期より連結ベースの財務数値により計算しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 各期とも、有利子負債残高ならびに利払いがないため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオの記載はしていません。

(4) 今後の見通し

2026年3月期は、次世代エッジAI半導体開発を中心に将来の成長に向けた攻めの戦略的投資を積極的に行う計画です。堅調なアミューズメント向け画像処理半導体出荷に加え、新規事業である次世代エッジAI半導体事業およびFA事業の売上も限定的ながら貢献し、全体として売上高は増収を見込んでおり、利益面においては半導体開発投資を優先することで、将来の収益基盤強化につなげます。この先行投資は、当社がこれまでGPU、AIプロセッサの設計・開発・販売において培ってきた競争優位性を更に強化し、中長期的な企業価値向上に大きく貢献するものと考えています。

中期的には、アミューズメント市場の更なる取り込みに加え、エッジAI半導体事業とFA機器事業のダブルの成長エンジンにより、更なる収益拡大を目指します。

低消費電力、高性能、高いセキュリティ要件を同時に満たす革新的なエッジAI半導体をモビリティ、スマートファクトリー、ドローン、スマートカメラ等の成長市場に投入することによって、収益拡大を図ります。

また、FA事業においても、AMR、AGFといったロボット本体やそのコントローラー、センサー、モーターなどロボットを構成するキーコンポーネントとソフトウェアをワンストップで提供することにより、拡大する物流業/製造業スマート化の需要を取り込み、事業の成長を図ります。加えて、提携製品と当社の画像認識技術・AI技術、画像半導体技術の融合により、更なる競争力強化を図り、市場シェアの拡大を目指します。

両事業をアミューズメント事業に続く第二、第三の事業の柱とし、企業価値の飛躍的な向上を図ってまいります。

以上を踏まえ、2026年3月期の連結業績につきましては、売上高3,250百万円、営業利益20百万円、経常利益25百万円、親会社株主に帰属する当期純利益20百万円を予想しております。

なお、上記の業績予想、中期展望を含む将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの予測とは異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

財務諸表は、会社法上の分配可能額の計算や法人税法上の課税所得の計算においても利用されることを鑑み、当社グループは会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,603,750	2,529,833
売掛金及び契約資産	246,332	411,881
有価証券	300,000	200,000
商品及び製品	35,585	45,490
仕掛品	2,817	2,585
原材料及び貯蔵品	44,266	51,365
前払費用	28,896	31,265
未収消費税等	5,750	7,303
その他	5,385	18,107
流動資産合計	3,272,786	3,297,832
固定資産		
有形固定資産		
建物	51,243	51,243
減価償却累計額	△44,181	△46,111
建物（純額）	7,061	5,131
工具、器具及び備品	205,038	190,079
減価償却累計額	△158,035	△154,839
工具、器具及び備品（純額）	47,002	35,240
有形固定資産合計	54,063	40,371
無形固定資産		
ソフトウェア	9,298	4,220
ソフトウェア仮勘定	—	158,170
その他	25	25
無形固定資産合計	9,324	162,416
投資その他の資産		
投資有価証券	483,227	536,318
長期前払費用	1,227	986
敷金	54,455	54,455
繰延税金資産	44,712	47
投資その他の資産合計	583,622	591,807
固定資産合計	647,010	794,595
資産合計	3,919,796	4,092,428

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	196,241	310,566
未払金	98,965	89,715
未払費用	2,033	1,762
未払法人税等	51,667	19,076
未払消費税等	54,686	6,736
預り金	12,204	10,132
契約負債	19,420	23,542
製品保証引当金	8,540	319
流動負債合計	443,761	461,851
固定負債		
資産除去債務	18,191	18,460
繰延税金負債	—	633
固定負債合計	18,191	19,093
負債合計	461,952	480,945
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,882	1,838,882
資本剰余金	1,858,093	1,858,093
利益剰余金	△243,821	△86,698
自己株式	△2,016	△2,016
株主資本合計	3,451,138	3,608,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,726	—
為替換算調整勘定	2,978	3,221
その他の包括利益累計額合計	6,705	3,221
純資産合計	3,457,844	3,611,482
負債純資産合計	3,919,796	4,092,428

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	3,016,061	3,077,721
売上原価	1,742,211	1,754,437
売上総利益	1,273,849	1,323,284
販売費及び一般管理費	945,277	1,057,729
営業利益	328,572	265,555
営業外収益		
受取利息	251	1,933
有価証券利息	1,263	6,177
為替差益	716	—
雑収入	0	179
営業外収益合計	2,231	8,291
営業外費用		
支払利息	317	—
為替差損	—	2,092
雑損失	9	24
営業外費用合計	326	2,117
経常利益	330,477	271,729
特別損失		
投資有価証券評価損	—	42,546
特別損失合計	—	42,546
税金等調整前当期純利益	330,477	229,182
法人税、住民税及び事業税	40,290	26,760
法人税等調整額	△41,082	45,298
法人税等合計	△791	72,059
当期純利益	331,268	157,122
親会社株主に帰属する当期純利益	331,268	157,122

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	331,268	157,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,080	△3,726
為替換算調整勘定	△365	242
その他の包括利益合計	2,715	△3,484
包括利益	333,983	153,638
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	333,983	153,638
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,838,882	1,858,093	△575,090	△1,724	3,120,161
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			331,268		331,268
自己株式の取得				△291	△291
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	331,268	△291	330,977
当期末残高	1,838,882	1,858,093	△243,821	△2,016	3,451,138

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	645	3,344	3,990	3,124,151
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純利益				331,268
自己株式の取得				△291
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	3,080	△365	2,715	2,715
当期変動額合計	3,080	△365	2,715	333,692
当期末残高	3,726	2,978	6,705	3,457,844

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,838,882	1,858,093	△243,821	△2,016	3,451,138
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			157,122		157,122
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	157,122	—	157,122
当期末残高	1,838,882	1,858,093	△86,698	△2,016	3,608,261

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	3,726	2,978	6,705	3,457,844
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純利益				157,122
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△3,726	242	△3,484	△3,484
当期変動額合計	△3,726	242	△3,484	153,638
当期末残高	—	3,221	3,221	3,611,482

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	330,477	229,182
減価償却費	41,293	27,708
株式報酬費用	6,504	—
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△8,810	△8,221
受取利息及び受取配当金	△1,514	△8,111
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	42,546
為替差損益 (△は益)	△7,098	360
売上債権の増減額 (△は増加)	587,185	△165,548
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△16,803	△16,771
仕入債務の増減額 (△は減少)	△356,999	114,324
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△1,179	△1,553
未払消費税等の増減額 (△は減少)	26,292	△47,949
その他	75,826	△23,547
小計	675,172	142,419
利息及び配当金の受取額	1,012	8,487
法人税等の支払額	△15,208	△57,658
営業活動によるキャッシュ・フロー	660,976	93,247
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△600,000	△400,000
有価証券の償還による収入	600,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△26,040	△8,537
投資有価証券の取得による支出	△472,749	△100,000
無形固定資産の取得による支出	△1,240	△158,570
投資活動によるキャッシュ・フロー	△500,029	△167,107
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△291	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△291	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,098	△57
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	167,753	△73,917
現金及び現金同等物の期首残高	2,435,996	2,603,750
現金及び現金同等物の期末残高	2,603,750	2,529,833

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正 会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用されますが、該当する事象はなく、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、IPコア等の開発・製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	1,099.42円	1,148.27円
1株当たり当期純利益	105.33円	49.96円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,457,844	3,611,482
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,457,844	3,611,482
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,145,160	3,145,160

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	331,268	157,122
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	331,268	157,122
普通株式の期中平均株式数(株)	3,145,185	3,145,160

(重要な後発事象の注記)
該当事項はありません。

4. その他

(1) 最近における四半期毎の業績の推移
2025年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 2024年4月～ 2024年6月	第2四半期 2024年7月～ 2024年9月	第3四半期 2024年10月～ 2024年12月	第4四半期 2025年1月～ 2025年3月
売上高	740,262	794,976	671,629	870,852
売上総利益	318,359	332,321	288,327	384,275
営業利益又は営業損失(△)	64,742	79,826	△22,790	143,776
経常利益又は経常損失(△)	63,493	79,793	△21,522	149,965
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	63,493	79,793	△21,522	107,418
四半期純利益又は四半期純損失(△)	59,172	62,217	△20,617	56,350
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	59,172	62,217	△20,617	56,350
四半期包括利益	64,114	53,038	△12,927	49,411
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失(△)	18.81円	19.78	△6.56	17.92円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	3,929,870	4,022,238	4,153,158	4,092,428
純資産	3,521,958	3,574,997	3,562,070	3,611,482
1株当たり純資産	1,119.80円	1,136.67	1,132.56	1,148.27円

2024年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 2023年4月～ 2023年6月	第2四半期 2023年7月～ 2023年9月	第3四半期 2023年10月～ 2023年12月	第4四半期 2024年1月～ 2024年3月
売上高	699,165	742,931	850,573	723,392
売上総利益	256,344	342,473	351,584	319,932
営業利益	30,196	104,590	126,578	67,207
経常利益	32,833	107,336	124,045	66,262
税金等調整前四半期純利益	32,833	107,336	124,045	66,262
四半期純利益	26,411	94,614	100,972	109,271
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,411	94,614	100,972	109,271
四半期包括利益	26,658	94,710	98,255	114,358
1株当たり四半期純利益	8.40円	30.08	32.10	34.74円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	3,684,722	3,691,464	3,893,835	3,919,796
純資産	3,150,810	3,245,229	3,343,485	3,457,844
1株当たり純資産	1,001.77円	1,031.82	1,063.06	1,099.42円